

福岡県 福岡市  
博多区

48歳



まさ なり  
**たかはし雅成**

ぼてと通信 NO.27

平成18年12月発行

<http://www.m-takahashi.net>

#### プロフィール

生年月日 昭和33年1月15日(48歳)

住所 福岡市博多区美野島3丁目

学歴 九州大学法学部卒

家族 妻と2男2女 下の子ども二人は双子

趣味 読書、スポーツ観戦、絵画鑑賞

特技 絵

好きな言葉 『鳥は、天候が悪いからといって翼を変えたりはしない』  
(周りの人や環境がどんなに変わっても、自分の生き方は変えないとい  
うこと。)=ナイジェリアの諺=

好きな本 ガリバー旅行記

好きな人物 マーチン・ルーサー・キング

#### 略歴

昭和33年 大分県別府市生まれ

昭和51年 大分県立別府鶴見丘高校卒

昭和56年 九州大学法学部卒

昭和58年 公明新聞入社

昭和61年 同九州支局に異動

平成12年 衆院選比例区 九州・沖縄ブロックに公明党から名簿登載  
(5位)

平成15年 福岡県議選に初当選(現1期)

#### 役職

県議会総務企画常任委員

県議会国際交流推進議員連盟副会長

県議団政審会長

党県機関紙推進委員長

全国初!



## 逮捕・勾留された県会議員の報酬を凍結!

「逮捕された議員に報酬を支払うのはおかしい  
のではないか!」

逮捕、勾留された県議が辞職するまでの間、何百万円もの報酬が支払わ  
れた事実に対する怒りの声をあげ、議員報酬条例の改正を提案。

福岡県議会は「逮捕、勾留などを理由に本会議などを欠席した県会議員  
には、報酬の支給を凍結する」などとした議員報酬条例の改正案を、共産党  
を除く賛成多数で可決した。この種の条例改正は全国で初めて!

## 地域密着!

不可能を可能に!

### 魔の交差点に待望の信号機を設置!

交通事故が多発していた通称「魔の交差点」  
(福岡市博多区の半道橋1丁目)。

過去に誰も実行不可能だと言われていた信  
号機を設置。住民から信号機設置の要望を聞  
いた高橋雅成議員は住民らと協力し、すぐさま  
約2300人分の署名を集め博多警察署に提出。  
なんと待望の信号機が設置された!



### 山王公園下に雨水調整池が誕生!

平成11年、15年と浸水被害が  
起きたことにより、浸水対策の切  
り札として誕生し、高橋県義が視  
察をした。御笠川本体の改修も  
県が進めており、調整池や下水  
施設の整備と合わせて浸水禍を  
防げるものと期待される。



### その他の提案

その他、平成17年9月議会には、高橋議員が代表質問に立ち、アス  
ベスト問題や改正介護保険への対応、地震対策、空港問題、教育問題  
など多岐にわたる問題で県当局の姿勢をただした。

## 福岡西方沖地震被害に迅速に行動！復旧事業を促進

平成17年3月20日 福岡西方沖地震の発生直後から誰よりも早く被害状況の把握に行動し、夜には玄界島、島民の避難場所である九電体育館を訪れ、被災者を激励。

翌日には、どの政党よりも早く玄界島を訪問し、その足で被災住民を激励。さらに福岡市西区の西浦の被災状況を視察した。

こうした視察を踏まえ、22日には麻生渡知事に、

国による激甚災害の指定を

被害の大きかった漁港・港湾の早期復旧、整備  
倒壊の危険のあるマンション等の集合住宅の建て替えに対する支援策  
避難住民のため、緊急避難的に県営住宅などの空き部屋の提供  
特に被害が大きかった玄界島については、現地に国、県、福岡市合同の支援本部を設置しライフラインの早急な復旧をはじめ、仮設住宅建設、漁業者への支援、倒壊家屋の復旧などの総合的な支援策  
等、11項目の要望をした。

その後、麻生知事には、災害救助法の適応を受けていない市町村も同様に支援すべきと要望。山崎広太郎福岡市長には、

「玄界島の仮設住宅は、渡船の出発時間が遅く期限に完成しない。午前7時の船便を復活すべき」と指摘。

この二つの要望は直ちに実行された。さらに福岡県議会は、福岡県西方沖地震対策などのため、約30億8400万円の補正予算を可決した。

麻生知事は、ブロック塀の安全点検を進めるため「安全対策協議会」を設立すると明言した。



## 安全・安心まちづくり条例の制定を提案

安全で安心して暮らせる街づくりのため、防犯の観点から街づくりを見直すための「安全・安心まちづくり条例」の制定を提案。同条例は、学校や公園、道路、駐車場、マンションなど、街のあらゆる箇所を安全・安心の観点から見直すことを推進するもの。

公明党は、大阪府、大分県など同条例制定の先進地を視察するとともに、条例制定を知事に迫ってきた。その結果、現在、条例制定に向けた有識者会議が開かれている。



## 7・19水害の対策

平成15年7月19日、異常な集中豪雨で福岡県下各地を襲った7・19水害。

なかでも、御笠川では甚大な被害が発生した。公明党は各地で被害状況の把握や被災者の激励などに走った。その後、集中豪雨にも強い街づくりを進めるため、3河川の改修を促進。現在、河川激甚災害対策特別事業、河川災害復旧等関連緊急事業などが行われ、着々と安全な川に生まれつつある。

また、この災害を契機に「県災害ボランティア連絡会」(25団体加入)が設置された。

